

2014  
森林と市民を結ぶ全国の集い  
in 東京

暮らしとつなげる森林の恵み～都市の視点から考える～

●  
報告書

2014年3月22日～23日  
場所／東京大学弥生講堂ほか農学部キャンパス（東京都文京区）

## 目 次

開催趣旨・日程	3
---------	---

### 開会式

開会あいさつ	4
会場の様子	4
分科会プレゼンテーション	6

### 分科会

第1分科会「住まい・暮らし」 森と木でつむぐ都会の暮らし	8
第2分科会「教育・文化」 とことん議論！森のようちえんと木育	11
第3分科会「食」「ジビエ・山菜入門」～美味しさを都市に届けて山村を元気に～	14
第4分科会「エネルギー」 日本が誇るクリーンエネルギーとしての「森林資源」	18
第5分科会「女子会」「森×女子」の「つながる力」をさぐる	22
交流会の様子	25

### 全体会

分科会報告	26
全体会① 東日本大震災から3年～被災地の森づくりの今とこれから～	27
全体会② 暮らしとつなげる森林の恵み～都市の視点から考える～	37
閉会式	53
参加者アンケート	54

## 開催趣旨

森林への関心と期待とが高まるなか、森林にかかわる市民の活動がさかんになってきました。

しかし、いま森林について多くの課題があげられています。

山村の過疎化、森林づくりを担う人の高齢化や減少、防災面での森林のあり方、地球温暖化や放射能汚染などの環境問題、また森林資源の利活用方法についてなど、課題はさまざまです。

そうしたなか、新たな動きもあらわれています。

森林と向き合い、多様なつながりを見い出し、つくり出していく取り組みが各地で始まっています。

今回の「森林と市民を結ぶ全国の集い」は東京で開催します。

都市の視点で森林を見つめ、森林を媒介にして語り合いたいと考えています。

私たち一人一人の暮らし方が森林のあり方に大きくかかわっています。

これからの森林、これからの私たちと森林とのかかわり方、これからの社会、これからの私たちのあり方。

そんなことを語り合いましょう。

## 日 程

### 3月22日(土) 弥生講堂および各教室

13:00	開会式
13:35～14:00	5分科会 問題提起・プレゼンテーション
14:15～17:30	分科会
18:00～20:00	交流会

### 3月23日(日) 弥生講堂

9:15～10:30	分科会報告（1分科会 各15分）
10:30～10:45	あいさつ
10:45～12:15	【全体会1】報告「東日本大震災から3年～被災地の森づくりの今とこれから」
12:00～13:00	昼食 講堂エントランスホールにて資料・パネル展示
13:00～14:45	【全体会2】対談「暮らしとつなげる森林の恵み～都市の視点から考える」
14:45～15:00	閉会式

## 参 加 費

1日 1000円 (学生 500円) 2日間 2000円 (学生 1000円)

# 開会式

## 開会あいさつ

内山 節 ● 「2014 森林と市民を結ぶ全国の集い in 東京」実行委員長

今回も、都市と地域を、どういうふうにして距離を縮めていったらいいのかという、大きな課題を抱えながらこの集いを開くことになりました。

実際、私たちは、片方では、私たちは自分たちの活動場所を持ってますから、その足場をしっかりと固めていかなければいけません。だけれども、もう片方では、やはり都市と森林との距離を縮めていこうという活動課題があります。たとえば、東日本大震災や原発問題、そういったものとどういうふうに関わっていったらいいのか。あるいは今日の都市の消費構造とか、経済のありかたとか、農山村の問題とか、そういうものとどういうふうに関わったらしいのか。実際にあらゆることがあって全体の構図があります。

ですから、片方では自分たちの足場をしっかりと固めながらも、片方では大きな意味でこの社会を変えていくというような、いろんな課題を背景にもちながら、それぞれの活動を進めていかなければいけない。難しい問題を抱えながらの活動だらうという気がしています。

森林の問題というと、決まり文句のような言葉があります。たとえば「木材価格の長期低迷によって林業は壊滅的な状態に陥っている」「農山村の過疎化によって林業の担い手が非常に厳しい状況になってきている」「都市部における建築のありかたの変化」、あるいは「消費構造の変化によって、森林と都市の生活とのあいだの距離がむしろ広がってしまっている。そのことをどう考えたらいいのか」といったことなどなどです。

もちろんこれらのことはすべて解決されていない問題ですから、私たち念頭に置かざるを得ないことではあるのですが、そういった決まり文句から始める「全国の集い」ではないはずです。やはり今的新しい感性と行動力のなかで、どんなふうにこ



内山 節 実行委員長

れから森林と市民をつなぎ直すのかについて、何らかの成果、またヒントがあればいいなと思っています。

そういったことを進めていこうとすると、先ほども申し上げたように、ひとつは、それぞれ自分たちの持てるフィールドのなかで足場をしっかりと固めていくということが必要でしょう。けれども、もう一方においては、さまざまなグループが、いろんなかたちで提携しながら新しいやりかたを模索していく、いろんな活動をしているところと連携しながら活動していくことも、また必要なんだろうという気がしています。たとえば三陸の問題も、あるいは福島の原発の問題も、我々だけでどうかしようということではなく、多くの方々と連携をしていくとか、あるいは原発問題でも、いろんな活動をしている

人たちと連携をしていく。そういうことを講じながら、大きな意味で、私たちはこの社会を変革していく。ですから、そういう活動とつながっていかなければいけないんだろうと思います。

いろんなところと連携を取りながら少しずつこの社会を変えていったら、私たちはもしかすると日本国内はもちろん、国境を越えた活動もできるかもしれません。昨今は国家と国家の関係がとげとげしい関係になってきているわけですが、そういう方向性にいってしまうのではなくて、むしろ森林とか自

然とか、あるいはそこでの営みとかというものを軸にしながら、いろんな交流ができるいく。これももしかすると、私たちの大きな課題のひとつなのかもしれません。

いろんな課題を抱えながら、私たちは都市と森林との距離を縮めていくということです。

この「森林と市民を結ぶ全国の集い in 東京」が、これから私たちのさらなる発展の場になることを期待しています。

## 会場の様子

### ● 全体会場入り口



### ● 講堂ロビー



### ● 受け付け



### ● 全体会場



## 分科会プレゼンテーション

### 1 「住まい・暮らし」 森と木でつむぐ都会の暮らし

#### 〈事例発表者〉

- ・井上 淳治さん  
きまま工房・木楽里 代表  
NPO 法人西川森の市場 代表理事
- ・能口 秀一さん  
NPO 法人サウンドウッズ 木材コーディネーター
- ・若杉 浩一さん  
全国スギダラケ倶楽部  
パワープレイス株式会社 シニアディレクター  
リレーションデザインセンター インタラクションデザイン部 部長

#### 〈コーディネーター〉

- ・丹羽 健司さん  
矢作川水系森林ボランティア協議会 代表  
NPO 法人地域再生機構 木の駅アドバイザー



### 2 「教育・文化」 とことん議論！ 森のようちえんと木育

#### 〈事例発表者〉

- ・野村 直子さん  
森のようちえん LittleTree 代表、横浜市認定家庭的保育室 もあな☆ちいさな木 園長
- ・多田 千尋さん  
東京おもちゃ美術館 館長
- ・吉元 美穂さん  
NPO 法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ 事務局長

#### 〈コーディネーター〉

- ・井上 真理子さん  
独立行政法人森林総合研究所 多摩森林科学園 主任研究員



### 3 「食」「ジビエ・山菜入門」～ 美味しさを都市に届けて山村を元気にする～

#### 〈事例発表者〉

- ・堀江 ひろ子 さん  
料理研究家／栄養士
- ・松浦 友紀子 さん  
TWIN  
(女性のハンティングネットワーク) 代表
- ・渡辺 信子 さん  
農業経営者

#### 〈コーディネーター〉

- ・石崎 英治 さん  
NPO 法人伝統肉協会 理事長



### 4 「エネルギー」 日本が誇るクリーンエネルギーとしての「森林資源」

#### 〈事例発表者〉

- ・大場 龍夫 さん  
株式会社森のエネルギー研究所 代表取締役
- ・小出 仁志 さん  
NPO 法人ナチュラルリングトラスト 副代表
- ・佐藤 靖也 さん  
一般社団法人木質ペレット推進協議会 事務局長

#### 〈コーディネーター〉

- ・三浦 秀一 さん  
東北芸術工科大学 デザイン工学部  
環境デザイン学科准教授



### 5 「女子会」「森×女子」の「つながる力」をさぐる

#### 〈事例発表者〉

- ・林業女子会@東京メンバー
- ・鈴木 海花 さん  
フォト・エッセイスト、『虫目で歩く』著者（都合により当日欠席）
- ・加賀谷 廣代 さん  
コクヨファニチャー株式会社 環境事業 TCM タスク

#### 〈コーディネーター〉

- ・赤池 圓 さん  
私の森.jp

